

地元農園代表ら
講演で展望語る

三重県玉城町

【三重・伊勢】玉城

町は8月上旬、玉城町保健福祉会館で講演会「玉城町農業の世界」を開いた。当日は、同町に栽培拠点を置く浅井農園の浅井雄一郎代表と伊勢志摩ワイナリー醸造責任者の高谷俊

彦氏の2人が講演し、同町で営農した経緯や今後の展望を話した。同町で活躍する女性農業者とも意見を交わした。

日本最大規模のキウイ園を経営する浅井代表は「『地域資源』と『先端技術』による地域イノベーション」をテーマに講演した。同社は耕作放棄地だった約8畝を活用して栽培

する。浅井代表は「玉城町と地権者、住民が親身になって受け入れてくれたことで、この地域で栽培ができてい

る。地域のために地域資源を使い、雇用や認知度向上などより良い効果をもたらすことが恩返しにつながる」と話した。

パネルディスカッションでは、浅井代表と高谷氏に加え、同町の

女性農業者4人が参加。女性目線から農業に対して感じることや今後の目標を話し合った。

認定農業者で米や麦を栽培する小水知加子

さんは「女性だと機械の操縦が難しい時もあったが、周りの方が快く教えてくれた。父の跡を継いで、地域の農地を守っていきたい」と話した。